



優秀賞の光電設



## モデル住宅コンクール

福島県、福島県電力活用推進協議会、東北電力福島支店の共催、電工組などの後援による六十一年度モデル住宅コンクールの表彰式が電気記念日（三月二十五日、午前十一時から福島市の県開拓会館）で行われた。

表彰式では、県電力活用推進協議会の櫻井俊平副会長（東北電力常務取締役福島支店長）があいさつ、続いて県土木部や商工労働部、教育厅して毎年開かれているもので

なから出席した来賓が祝辭

今年も県内各地から多数の応

## 電気記念日に表彰式

を述べた。このあと事務局が

経過報告を行い、第七回電気秀な作品が多く、内外仕上げ等に関する計画、意匠、デザイン、色彩、建築設備全て

が、地域性に融和し生活要求を満たしているもの多かつた」という。

### 最優秀賞に

は渡辺氏宅

モデル住宅コンクールは、合理的かつ安全な設計と適切な施工技術による住み良い住

宅の普及を図り、県民生活の向上に寄与することを目的と

建設センターでの大会

第二十二回福島県建設業労働災害防止大会が、二月十日の午後一時半から福島市の県建設センターで開かれた。

的達成に向かつて邁進したい」と述べた。

このあと表彰に移り、建災防県支部長賞事業場賞（二十社）と功績賞四十六名、それ

れに六十年度安全競争の入賞

社に対し、表彰状と記念品が贈られた。

安全競争のうち電気工事部

門では、大和電設工業（松崎

勉社長・いわき市平）が優勝

常盤電設工業（坂本博太郎社

長・いわき市佐藤町）が準優

勝、常磐興産電機工業（黒田

正之社長・いわき市常磐湯本

町）が第一位に輝いている。

## 三大災害の絶滅を誓う 優良事業所など表彰

### 表彰のあと、休憩をはさん

で建災防労働衛生対策室長の

三上辰雄氏による「人間性に

表記のあと、休憩をはさん

で特別講演が行わった。

そして

最後に①墜落、重機、土砂崩

壊の三大災害絶滅②安全施工

サイクルの普及推進③安全衛

生教育の推進を柱とした安全

の誓いを読みあげて大会を終

了した。

特別講演が行わった。

そして

講演を行った。

このあと地域懇談会に入り

来賓として出席した井上孝参

議が、「公共事業をめぐる諸

問題について」講演、国六

十二年度公事事業等について

説明した。

続く懇談では、知県建設業

会の時田昭一氏が陳情に立

ち、①相馬開発や常磐高速自

動車道の仙台延伸など大型ブ

ロジェクトの促進②県内地元

業者の優先活用③入札制度の

合理化と発注における適正

な設計と積算」を国や県、市

議会を開かれて、講師の東北

講演会が開かれ、本協会の大

十名が出席した。

午後一時から、経営合理化

講演会が開かれ、講師の東北

講演会が開かれ、本協会の大

十名が出席した。

午後一時から、経営合理化

講演会が開かれ、本協会の大

十名が出席した。

午後一時から、絏営合理化

講演会が開かれ、本協会の大

十名が出席した。</

第2回工事施工体験発表会より

契約内容 工事内容  
工事発注者:白河信用金庫理事長  
藤田収

設計管理者:株式会社春山建築設計事務所

工 期:昭和59年9月5日~  
昭和60年8月20日別途工事:(建築)前田建設・  
共栄建設JV(機械)  
東北エンタープライズ建築概要  
所 在 地:白河市南堀切57-1番地敷地面積:2,242.4平方メートル  
用途地域:近隣商業(建ぺい率80%、容積率200%)

構造規模:鉄骨鉄筋コンクリート造、地下1階、地上6階、塔屋1屋1部3階

建築面積:4,290.252平方メートル  
最高軒高:23.45メートル、最高オフィスビル建設に伴う  
省エネ設備の設計施工福島県南電設工業株  
専務取締役

中 島 功

白河方部は、企業進出が活発であり、設備工事業としても、その内容の充実が迫られています。私の発表のテーマとなつた白河信用金庫本部新築工事は、同金庫の六十周年を記念する事業です。

白河信用金庫は、白河市をはじめ西白河、東白河両郡、石川郡の一部、それに栃木県北の黒磯市、大田原市、西那須野町などに十四の本部が拡張化し、その機構が本館及び別館に分散し障をきたし、また本部の一

施設を有する金庫です。今回の本部新築は、従前に地元金融機関として寄与する新本部が、新白河駅前区画整理事業区域内にあり、白河市の新しい市街地形成

業の対象となり移転を余儀なくされたという背景があります。こうしたことから

設計要旨としては、建設す

る新本部が、新白河駅前区

画整理事業区域内にあり、

白河市の新しい市街地形成

に対する目的とし、併せて同金庫の創立六十周年の

## 省エネ計画書を作成

## 施主の理解が力

記念事業として本部セントラルの機能を向上させることに重点が置かれました。停電対策としては、一般設備及び

電気設備についても、今日のさまざまな技術に対応し、将来的な変化にも十分対応できる設備内容と

革新(特に情報通信技術や事務機器等の急速多様化)

にに対応し、将来的な変化にも十分対応できる設備内容と

革新(特に情報通信技術や事務機器等の急速多様化)

にに対応し、将来的な変化にも十分対応

